

ゴーヤ通信 No.3

令和3年7月10日号

追肥をしましょう



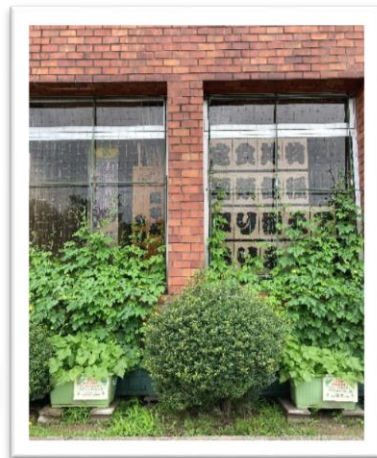
ゴーヤは生育が旺盛です。元肥だけでは不足してきますので、生育にあわせて追肥が必要です。

液体肥料は、植え付けてから間もない幼苗時期に適しています。固形肥料（化成）は、花が付くころから適します。月に2回程度、1株に10gくらい与えます。

市役所庁舎グリーンカーテンの様子

市役所庁舎のグリーンカーテンは、日に日にツルがのびて窓の半分ほどを覆っています。摘芯を行って、ツルが横にも茂ってきています。

葉の陰には、小さなゴーヤの実が付いています。毎日成長を観察しながら、収穫のタイミングを逃さないように見守っていきたいと思います。



<7月8日撮影>

<ワンポイント>受粉させる方法もあります

初めのうちは、雄花が先に咲いて、あとから雌花が付いてきます。低温時と30℃を超えると、生育が遅くなりツルがのびなくて雌花もつきにくいです。

花は一日でしぼみますので、朝のうちに雄花を摘んで雌花のめしべに受粉させると確実に実がなります。



◆この記事に関するお問い合わせはコチラ◆

五泉市役所 環境保全課環境政策係

〒959-1692

五泉市太田1094-1 TEL0250-43-3911